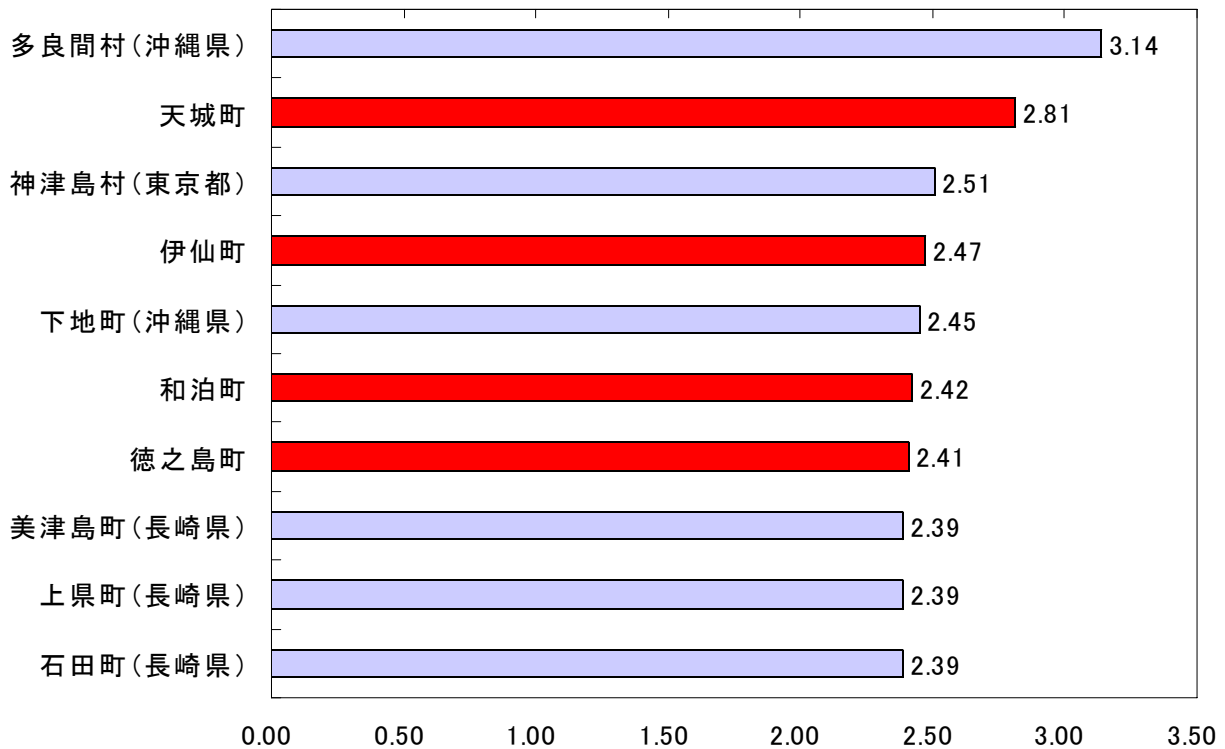


1 子宝の島

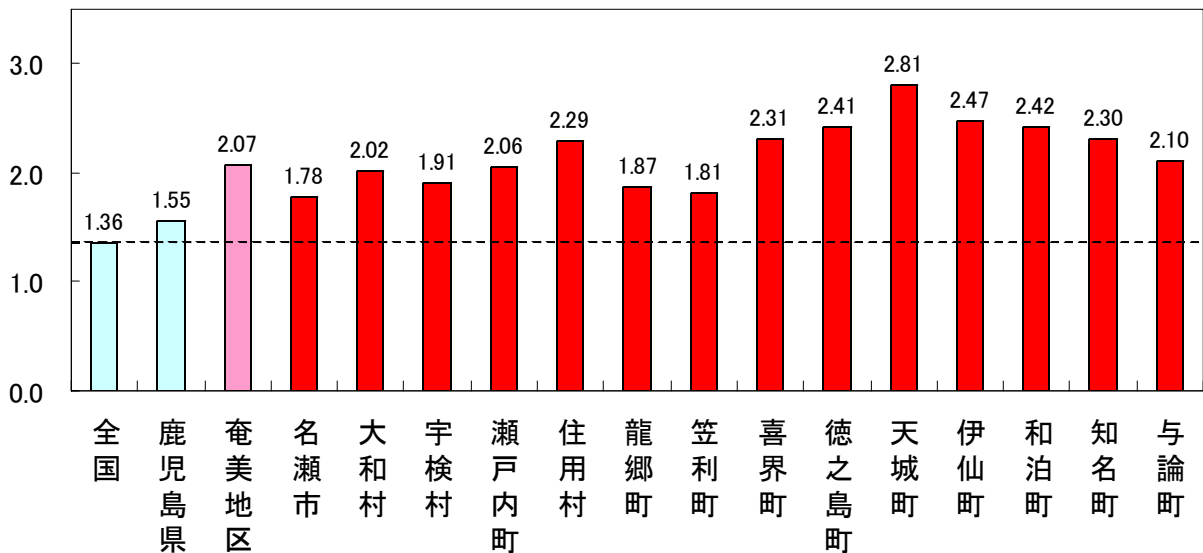
(1) 子宝の状況

合計特殊出生率（女性が一生の間に出産する子どもの数）の全国市区町村ランキングでは、上位10位以内に4町が入っていると同時に、群島内の全市町村が全国平均を上回っています。さらに、前回のランキング（平成5～9年）においては、1位から5位までを群島内の町が独占していました。このように、奄美群島は、「子宝の島」としても注目を集めています。

全国の市区町村別にみた合計特殊出生率の上位10位
(平成10年～14年ベイズ推定値)



奄美群島内市区町村別合計特殊出生率 (平成10年～14年ベイズ推定値)



(2) 子宝の要因

奄美群島の子宝を支える要因について、既存資料のマクロ分析やアンケート調査を行ったところ、次のような項目が確認されました。

【「子は宝」という価値観】

- ◎ 親、ひいては地域に「子は宝」という価値観があること
 - ・ 子どもは多いほどよい、理想的な子供数を4人以上と考えている人が多い
 - ・ 家族観として、夫婦単位より大きなイメージで捉えている人が多い



【共助のしくみ】

- ◎ 子育てに対する親族や地域の人からの支援網が充実していること
- ◎ 地域に子どもの世話を生きがいとする高齢者が多いこと
- ◎ 地域における子育ての支援者でもある食生活改善推進員や民生委員、児童委員等の活動が盛んであること



【出産・育児に関する公的サービス】

- ◎ 幼稚園・保育所等の設置数が多く、サービスを利用しやすいこと

【地域に対する魅力】

- ◎ 魅力が感じられるような地域において子育てができること
 - ・ 自然や人間関係など、地域に対して魅力を感じている母親が多い
 - ・ 子どもに対しても、「この地域に育ったことを誇りに思い、郷土文化の担い手として育ててほしい」と望んでいる母親が多い

